

## 第5空軍、新司令官着任



2010年10月25日、横田基地在第5空軍司令官、及び在日米軍司令官にバートン M. フィールド中将が就任しました。前職は国防総省でアフガニスタン・パキスタンに関する米国特別代表の上級顧問を務めていました。前任者のエドワード ライス中将はテキサス州ランドルフ空軍基地空軍教育訓練軍集団司令官へ転任しました。

司令官交代式は、米国太平洋軍司令官ロバート F. ウィラード海軍大将、太平洋空軍司令官ゲイリー L. ノース空軍大将も列席のうえ行なわれました。

新司令官フィールド中将は、挨拶のなかで日米同盟を一層強固なものにしていくこと、また米軍再編事業から相互運用、効率的な調整、弾道ミサイル防衛など、多岐にわたる事業について日々緊密に取り組んでいくという決意を述べました。また、将来における問題に対しても警戒を怠りなく即応可能な態勢を維持していくと述べました。

## 安住防衛副大臣、嘉手納基地を視察

11月8日、安住淳防衛省副大臣が嘉手納基地を訪問し、第18航空団司令官ウィルズバック准将の出迎えを受け、その後航空団の概況説明等を受けました。会談のなかで、安住副大臣は先ずカデナスペシャルオリンピックスを嘉手納基地で開催していることに感謝を述べ、また防衛大臣からの謝意を伝えました。嘉手納基地の概況説明を受けた後、安住副大臣は嘉手納基地の戦略的重要性についてコメントしました。ウィルズバック准将は第18航空団が日本との共同防衛任務を遂行する一方で、嘉手納基地周辺地域への騒音問題軽減に対する取り組みについて説明しました。副大臣は、嘉手納基地に対する



(米空軍：ダーナル・ケネディ二等軍曹撮影)

周辺地域からの懸案事項に取り組む際には、沖縄防衛局と密接なコミュニケーションをとることも重要であるとコメントしました。会談を終え、安住副大臣は滑走路修復工事現場視察で訪問を終えましたが、また嘉手納基地を訪問したい意向を示しました。

## 嘉手納契約中隊、米国政府契約業務について地元企業に説明会を開催



(米空軍：ジェイソン・レイクー等軍曹撮影)

嘉手納基地内の第18契約中隊は、10月21日、22日の両日、浦添市にある沖縄県建設会館にて、空軍関連契約業務に関するセミナーを開きました。沖縄県建設業協会に所属する建設業界から50人以上の代表者が出席し、米軍が発注する工事の入札契約手続きに関する説明を受けました。第18契約中隊によると、昨年度、嘉手納基地における工事関係の契約高は2億4千万ドルで、そのほとんどを本土企業が落札し受注したことです。セミナーに先立ち、第18任務支援群司令官のラフティール・コンスタンティーン大佐と第18契約中隊司令官のフィリップ・ヘンドリック中佐の挨拶がありました。「本土企業の下請け業者としてではなく、落札業者として、できる限り多くの地元企業が受注できることを期待します。地元企業が基地内工事取引に参入することは、基地と地元双方の利益につながります」と、ヘンドリック中佐が述べました。出席した町田華さんは、「2年ほど前に豊見城で一度研修を受けましたが、今回は主に建設業に関する内容が中心であったこと、入札制度の実務的な内容につ

いても実例をあげて詳細な説明があったことが非常に良かった。特殊な入札手続きのため、米軍工事に対し参加しにくいとの思いを持っていましたが、説明してくれた比嘉弘契約官の丁寧な説明のおかげでチャレンジしていきたいと思った」と、話しました。11月16日、同様のセミナーが豊見城市主催で豊見城市役所にて開催され、30社からおよそ40名参加しました。

## - 2010年 主な出来事 -

1月

## JANUARY



太平洋空軍司令官ゲイリー L. ノース大将、09年の交代式以来初めて嘉手納基地を訪問。

平野内閣官房長官（当時）が嘉手納基地を訪問。また以前在沖四軍調整官を務めた米国防総省グレグソン次官補も沖縄県を訪問。

## FEBRUARY

2月



自衛隊関係者の視察多数。

日米エアフォース友好協会、航空自衛隊那覇基地、在日米空軍第18航空団の日米関係向上に寄与した隊員を表彰。

第18兵站即応中隊ボランティア、伊江島にある老人ホームを訪ね奉仕作業。

B-52 戦略爆撃機、燃料補給のため20年ぶりに嘉手納基地へ着陸。



## MARCH

3月

第18回沖縄マラソン開催。嘉手納基地内約2.8キロの沿道でおよそ180名の米人ボランティアが支援。

戦後嘉手納基地が担っていた沖縄地域航空管制（ラップコンRader Approach Control）の主たる業務を日本政府へ移管。

県立高校入学試験。地域の騒音軽減協力として試験日2日間とも訓練飛行を一時中断。

日米エアフォース友好協会関係者、嘉手納基地を視察。

第11回嘉手納町外語塾卒業式。支援群司令官から祝辞。

外務省沖縄事務所、米軍人を対象とした写真コンテストを主催。

Photo  
Contest!



## APRIL

4月



地球規模で環境問題を考えるアースウィーク。多数の啓蒙活動を実施。

## MAY

5月

那覇ハーリー。今年も嘉手納基地ショーグンチーム、男女各1チーム参加。

F-22、12機嘉手納基地へおよそ4ヶ月の予定で飛来。

第18兵站即応中隊、明治神宮で開催された日本善行会式典で受賞。



## JUNE

6月



Volunteer &  
Donations

嘉手納将校配偶者の会、基地内子弟に\$24,500（約196万円）を奨学金として寄付。

ライズナ一体育館、鏡ヶ丘特別支援学校の高校生一名を4日間職場体験者として受け入れ。

沖縄自動車、社会実験としての高速料金無料化開始。

7月

米国独立記念日を祝う。JULY • 

嘉手納スペシャルオリンピックス資金造成活動として基地内消防隊員が「フィル ダ ブーツ」募金活動を基地内の BX コミサリー前で実施。2日間で\$21,000ドル（およそ170万円）の寄付金が集まった。

沖縄市と嘉手納基地の消防相互援助の覚書に調印。

**AUGUST**

8月

Typhoon Kompase (台風7号)、北部にある奥間ビーチ施設に打撃。

沖縄市民の嘉手納基地内の歴史跡めぐり

嘉手納基地第18航空団配下の中隊・群司令官、多数交代

**SEPTEMBER** • 9月

第63回米国空軍創立記念祝賀会

嘉手納スペシャルオリンピックス、ボウリング大会を北谷町在ボウリング場で開催。地元地域から障害者およそ150名参加。

第18航空団司令官、飲酒運転・事故続発に際し、航空兵の猛省促す

D B I D S 嘉手納基地入域のパス更新義務化、バーコード付きパス必携

**OCTOBER**

嘉手納基地滑走路工事開始、18ヶ月の長期工事。  
滑走路一本による運用開始

第5空軍司令官交代。新司令官バートン M. フィールド中将就任



嘉手納スペシャルオリンピックス、美術作品展示会をうるま市在ショッピングモールで開催。地元地域の障害者およそ700名が400点を出展。



旧暦9月9日、地元地域から多数参拝。

10月

**NOVEMBER**

第11回嘉手納スペシャルオリンピックス本大会開催。地元から障害のあるアスリート850名、日米ボランティア2300名参加。

沖縄市国際カーニバル。嘉手納基地からおよそ200名のボランティアが大綱引きに参加。

安住淳防衛副大臣、嘉手納基地を視察。

F-15、12機訓練移転のため航空自衛隊千歳基地へ展開。

**DECEMBER**

12月

外務省主催、沖縄の歴史説明 空手実演をシリングレクセンターで開催。

日米共同統合演習「Keen Sword」が行われた。

ホリデーシーズン。基地内ボランティアから地域の老人介護施設、児童施設等へ多数の寄贈品贈呈。

